



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946

URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 秋津 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長

(氏名) 山後 宏幸

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,626	11.4	179	—	102	—	65	—
25年3月期第3四半期	17,612	△9.0	△1,085	—	△1,176	—	△2,012	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 66百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △2,012百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	2.31	1.49
25年3月期第3四半期	△71.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,613	6,142	20.7
25年3月期	28,632	6,075	21.2

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 6,142百万円 25年3月期 6,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	6.8	750	265.1	600	563.0	550	—	19.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、P. 3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	28,300,000 株	25年3月期	28,300,000 株
26年3月期3Q	46,995 株	25年3月期	44,297 株
26年3月期3Q	28,254,313 株	25年3月期3Q	28,257,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00
第2種優先株式					
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

- (参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。
ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第2種優先株式配当金} = 1,000 \text{ 円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.25\%)$$

※ 日本円TIBOR …… 毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明 P. 2
- (2) 財政状態に関する説明 P. 2
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 P. 3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 P. 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 P. 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 P. 3

3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 P. 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 P. 6
- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 P. 8
 - (継続企業の前提に関する注記) P. 8
 - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) P. 8
 - (セグメント情報等) P. 8

4. 補足情報

- (1) 受注高及び受注残高 P. 9
- (2) 売上高 P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本政府による金融緩和政策により引き続き株価の上昇、円安傾向となるとともに個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向のうちに推移しました。

このような状況の中で当社グループは、既存市場の深耕、自動車等の好調な市場の開拓に努め、これらの市場をターゲットとした新製品の発売や販売店との連携を強化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、情報システム等が好調に推移したことから、売上高は前年同期比20億13百万円増加の196億26百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

損益に関しましては、売上高の増加等の効果により営業利益が前年同期比12億64百万円改善の1億79百万円、経常利益が前年同期比12億78百万円改善の1億2百万円、四半期純利益は前年同期比20億77百万円改善の65百万円となりました。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムについては、補正予算等の効果により指揮・統制関連装置等が好調を維持したため、売上高は前年同期比14億55百万円増加の116億94百万円（前年同期比14.2%増）と大幅に増加し、セグメント利益は売上高の増加等により前年同期比9億70百万円改善の5億55百万円となりました。

電子機器

電子機器については、売上高は、接合機器が日本ヒューチャア株式会社の買収効果及び電子部品製造用装置の増加等があったため、前年同期比5億59百万円増加の53億26百万円（前年同期比11.7%増）となりました。損益に関しましては、売上高の増加及び費用削減に努めた結果、前年同期と比較して3億円改善したものの、2億89百万円のセグメント損失となりました。

プリント配線板

プリント配線板については、売上高は、半導体計測装置市場向け製品が伸び悩んだため、前年同期比1百万円減少の26億5百万円（前年同期比0.0%減）となりました。損益に関しましては、原価率の悪化により前年同期比6百万円悪化の87百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億81百万円増加し、296億13百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が3億23百万円減少したものの、現金及び預金が4億9百万円、たな卸資産が5億22百万円、無形固定資産が4億80百万円それぞれ増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億15百万円増加し、234億71百万円となりました。これは主に借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が3億95百万円、賞与引当金が1億49百万円、退職給付引当金が3億88百万円それぞれ増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ66百万円増加し、61億42百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月26日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、平成25年4月1日付で日本ヒューチャ株式会社を全株式を取得し、連結子会社としております。また、連結子会社でありました日本アビオニクス販売株式会社は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461	2,870
受取手形及び売掛金	11,461	11,137
たな卸資産	4,853	5,375
その他	1,089	980
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	19,858	20,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,546	1,602
土地	4,058	4,058
その他(純額)	818	879
有形固定資産合計	6,423	6,541
無形固定資産		
のれん	61	529
その他	64	76
無形固定資産合計	125	606
投資その他の資産		
前払年金費用	1,032	906
その他	1,263	1,275
貸倒引当金	△72	△73
投資その他の資産合計	2,224	2,108
固定資産合計	8,773	9,255
資産合計	28,632	29,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,660	5,056
短期借入金	6,334	5,673
未払法人税等	32	68
賞与引当金	309	458
工事損失引当金	41	7
製品保証引当金	60	41
その他	1,716	2,431
流動負債合計	13,154	13,736
固定負債		
長期借入金	3,823	3,780
再評価に係る繰延税金負債	1,157	1,157
退職給付引当金	4,384	4,773
その他	35	23
固定負債合計	9,401	9,735
負債合計	22,556	23,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	750	750
利益剰余金	△2,531	△2,466
自己株式	△11	△12
株主資本合計	4,102	4,167
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,973	1,973
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益累計額合計	1,973	1,974
純資産合計	6,075	6,142
負債純資産合計	28,632	29,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	17,612	19,626
売上原価	14,388	15,543
売上総利益	3,223	4,082
販売費及び一般管理費	4,309	3,903
営業利益又は営業損失(△)	△1,085	179
営業外収益		
為替差益	11	13
受取手数料	16	15
その他	29	16
営業外収益合計	57	45
営業外費用		
支払利息	101	98
その他	46	23
営業外費用合計	148	122
経常利益又は経常損失(△)	△1,176	102
特別利益		
固定資産売却益	146	—
特別利益合計	146	—
特別損失		
固定資産除却損	1	0
減損損失	113	—
事業構造改善費用	1,463	—
特別損失合計	1,578	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,607	102
法人税等	△595	37
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,012	65
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,012	65

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,012	65
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	△2,012	66
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,012	66
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期累計(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,239	4,766	2,606	17,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	10,239	4,766	2,606	17,612
セグメント利益 (営業利益)	△414	△589	△80	△1,085

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,694	5,326	2,605	19,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	11,694	5,326	2,605	19,626
セグメント利益 (営業利益)	555	△289	△87	179

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成25年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成26年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成25年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	9,512	8,155	12,512	9,945	15,210	9,127
電子機器	4,598	1,476	5,545	929	6,074	627
プリント配線板	2,984	915	2,847	984	3,900	742
合計	17,095	10,548	20,905	11,858	25,185	10,496

(2) 売上高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成25年3月期 第3四半期累計		当四半期 平成26年3月期 第3四半期累計		(参考) 平成25年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	10,239	58.1%	11,694	59.6%	14,966	58.1%
電子機器	4,766	27.1%	5,326	27.1%	7,092	27.5%
プリント配線板	2,606	14.8%	2,605	13.3%	3,695	14.4%
合計	17,612	100%	19,626	100%	25,754	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成25年3月期 第3四半期累計	当四半期 平成26年3月期 第3四半期累計	(参考) 平成25年3月期
	海外売上高	海外売上高	海外売上高
情報システム	100	31	112
電子機器	1,768	2,029	2,744
プリント配線板	91	103	130
合計	1,960	2,165	2,987
海外売上高の連結 売上高に占める割合	11.1%	11.0%	11.6%